

2022年6月理事会議事録

日 時：2022年6月25日（土）14：00～17：30

場 所：日本考古学協会事務所・オンライン会議

出席：辻 秀人・大竹幸恵・佐藤宏之・足立佳代・足立拓朗・岩本 崇・大坪志子・岡林孝作・亀田直美・黒沢 浩・小菅将夫・澤田秀実・田尻義了・谷口 榮・谷畑美帆・野口 淳・肥後弘幸・日高 慎・藤沢 敦・藤野次史・水本和美・溝口孝司・高麗 正、監事：都築恵美子・萩野谷 悟（事務局：林 純子・近藤絵里奈）

欠席：高倉 純

進行：藤沢 敦

議長：辻 秀人

藤沢理事から、本日の出席者は25名（うち理事23名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

小菅理事から、栃木県の山口 仁会員が2021年6月20日、富山県の新宅輝久会員が11月29日、神奈川県の前田哲也会員が2022年5月20日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第688号 退会会員の承認について

小菅理事から、北海道の*会員、秋田県の*会員、岐阜県の*会員から2021年度をもつての退会届、岩手県の*会員、神奈川県の前田哲也会員から2022年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

議案第689号 広報委員会の委員長を選任について

足立理事から、広報委員会では近藤英夫委員に代わり佐古和枝委員を委員長として新たに選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

議案第690号 機関誌『日本考古学』編集委員会の委員長を選任について

黒沢理事から、機関誌『日本考古学』編集委員会では、前委員長である大塚昌彦会員の理事及び委員退任に伴い、黒沢浩理事を委員長として新たに選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

議案第691号 社会科・歴史教科書等検討委員会の委員長を選任について

小菅理事から、社会科・歴史教科書等検討委員会では引き続き釘持輝久委員を委員長として選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

報告第891号 『シンポジウム～高輪築堤を考える～』概要集の作成と配布について

埋蔵文化財保護対策委員会の前委員長である藤沢理事から、高輪築堤跡は再開発プロジ

エクト第2期にあたる5・6街区の保存が今後の課題であることから、4月16日（土）の「シンポジウム～高輪区堤を考える～」について、記録集ではなく概要集として実施から遅れることなく冊子体での刊行と、ホームページ上での公開を埋蔵文化財保護対策委員会では計画しているとの説明があり、5月第1回理事会議案第684号を受けて修正した内容案及び予定経費が提示された。意見交換が行われ、国際記念物遺跡会議（イコモス）による高輪築堤消滅危機についての「ヘリテージ・アラート」の発出もあったことから海外への発信として英文要旨の掲載提案があり、一部修正を加えて刊行を進めることで了承された。なお、経費は予備費から支出することとする。

報告第892号 文化財の不適切行為事案に関わる会員の対応策について

辻会長から、会員である岩手県立博物館の元学芸員の金属器無断切取り行為について、新理事会となったことから、これまでの経緯の説明があり、5月第2回理事会後、弁護士に当会の規程の法的な確認を行ったことが報告された。今後の対応について意見交換を行い、提言や声明等の発出提案が出された。

報告第893号 2022年度福岡大会の実施概要について

田尻理事から、2022年度福岡大会の日程及び概要説明があった。福岡大会は基本的に会場における対面開催とオンライン配信のハイブリッド方式で行う予定であること、ポスターセッションについては対面での実施予定であること、また新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から懇親会・図書交換会は実施しないことが説明され、理事の出欠席の連絡が確認された。ポスターセッションの実施方法について意見が出され、実行委員会での検討が求められた。

報告第894号 カフェde考古学第3回「土器圧痕法からわかること」の成果

亀田理事から、6月11日（土）にカフェde考古学第3回「土器圧痕法からわかること」を熊本大学の小畑弘己教授を講師としてオンラインで開催し、35名定員のところ関係者を含めて50名程度の参加を得たとの報告があり、オンライン時の双方向性の確保が課題としてあげられた。

報告第895号 引継ぎ状況及び今後の活動予定について

高麗常務理事から、各事業担当理事に引継ぎ状況及び今後の活動予定についての説明が求められ、各理事から事務局との連絡担当が報告されるとともに今後の活動予定が説明された。

報告第896号 各委員会等における2022年度会議等報告について（その1）

1 災害対応委員会の報告

田尻理事から、6月9日（木）に委員会をオンラインで開催し、①委員長・副委員長を選出した。②今後の活動方針として、災害対応マニュアルの作成やホームページの活用について協議した。③6月24日（金）開催の文化遺産防災ネットワーク推進会議に提出する資料を検討したとの報告があり、了承された。

2 広報委員会の報告

野口理事から、6月8日（水）に委員会をオンラインで開催し、①委員長を選出し、②8月刊行の『会報』No.206の編集状況と目次について確認した。③今後の活動として、高輪築堤に関する件で使用しているYouTubeチャンネルのプロモーションや「コロナ禍の考古学」に変わる新たなリレー・コラムの実施についての協議、及び協会ホームページのリニューアルに向けた検討を開始することを確認したとの報告があり、了承された。

3 機関誌『日本考古学』編集委員会の報告

黒沢理事から、6月12日（日）に委員会をオンラインで開催し、①担当理事及び委員が交替したことから、新体制について協議した。②これまでの委員会からの引継ぎを行った。③次号第55号の進捗状況を確認し、掲載内容について協議したとの報告があり、了承された。

4 社会科・歴史教科書等検討委員会の報告

小菅理事から、6月4日（土）に委員会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、①委員長・副委員長の選出等、新体制について協議した。②前年度の活動内容を確認し、今年度の活動予定について意見交換を行った。主な活動としては、i) 福岡大会におけるポスターセッションの内容検討、ii) 授業実践例の情報収集と紹介、iii) 昨年度とは異なる教科書会社への訪問、iv) 探求学習・GIGAスクールに対する協会ホームページの活用、v) 文部科学省との懇談に向けての検討を予定しているとの報告があり、了承された。

5 陵墓の報告

岡林理事から、①5月22日（日）に陵墓16学協会の運営委員会をオンラインで開催し、今年度の役割分担案を協議した。②陵墓懇談・全体会議等の今年度の活動内容について意見交換を行ったとの報告があり、了承された。

6 埋蔵文化財保護対策委員会の報告

藤野理事から、①5月21日（土）に幹事会をオンラインで開催し、i) 4月16日（土）に実施した港区高輪築堤跡に関するシンポジウムの記録集について内容や刊行スケジュールを協議した。ii) 大阪府島本町越谷遺跡について現状の報告があり、今後の対応を検討した。iii) 広島市広島城跡について要望書の提出準備を進める。iv) 第88回総会で実施するセッション・ポスターセッション、総会前日に行う委員会について準備状況を確認した。②第88回総会前日の5月27日（金）に全体の委員会を開催し、i) 委員長・副委員長の選出を行った。ii) 2021年度の活動報告及び2022年度の活動計画を協議し、併せて各地域連絡会から埋文委アンケートの結果及び活動状況の報告が行われたとの報告があり、了承された。

続けて藤野理事から、文化庁文化審議会文化財分科会第三専門調査会で検討されてきた「これからの埋蔵文化財保護の在り方について（第一次報告書）（案）」のパブリック・コメントの募集が6月20日から開始され、幹事会では提出の検討を行っており、各理事に

も意見を寄せて欲しい旨が説明された。

報告第897号 九州国立博物館における実施事業に関わる後援（名義使用）の承認について

高麗常務理事から、九州国立博物館（兼福岡県立アジア文化交流センター）から「全国高等学校歴史学フォーラム2022」についての後援（名義）依頼があり、名義の使用を承認したとの報告があり、了承された。

報告第898号 若手研究者をとりまく評価に関する意識調査（Webアンケート）へのご協力をお願い

高麗常務理事から、日本学術会議若手アカデミーから「若手研究者をとりまく評価に関する意識調査（Webアンケート）」への協力依頼があり、協会ホームページに掲載しているので、各理事に対象者への周知が求められた。

その他

1 第23回岩宿文化賞及び第19回岩宿文化研究奨励賞受賞候補者の推薦について

高麗常務理事から、群馬県みどり市から今年度岩宿文化賞及び研究奨励賞について候補者の推薦依頼の案内があり、協会ホームページに掲載することが説明された。

2 2022～2023年度の会務役割分担の修正について

辻会長から、会務役割分担に一部変更があることが説明された。

以 上